

和歌山県公共工事入札監視委員会第77回定例会議 議事概要

開催日及び場所	令和2年11月20日(金) 13:30~15:00 和歌山県自治会館 304会議室	
出席委員氏名	遠藤桂介(委員長) 沖本易子(副委員長) 坂田初美 田上順子 永瀬節治 三岩敬孝	
審議対象期間	令和2年7月1日 ~ 令和2年9月30日	
抽出案件	総件数 2件	議事
一般競争入札	— 件	○入札及び契約手続の実績状況等の報告 ○抽出工事に係る競争参加資格の認定の経緯等審議 ○意見交換会
条件付き 一般競争入札	2 件	
通常指名競争入札	— 件	
随意契約	— 件	
委員からの意見・質問、それに対する回答	意見・質問	
	別紙のとおり	別紙のとおり
委員会による建議の内容	なし	

意見・質問	回 答
<p>【入札及び契約手続の実績状況等報告】</p> <p>1. A委員 1回目と2回目が応札者なし、3回目は1者応札したが失格となり、4回目に1者応札で落札している案件がある。1者応札の理由として、専門工事であり技術者不足ということだが、技術者不足がかなり深刻な状態になってきているのか。また、落札まで時間がかかった理由は何か。</p> <p>2. B委員 「再度の入札で落札者なし等のため」という理由で5件の随意契約を行っているが、入札条件を見直して再度入札を行わずに随意契約になるのか。</p> <p>3. C委員 随意契約は、時間と事案の兼ね合いで決めているのか。</p> <p>4. D委員 1者応札の理由として、「専門性が高い」、「特殊な工事で条件が悪い」といった理由は理解できるが、高校の大規模改造工事の理由が「業者の繁忙期と重複したため」となっている。参加可能業者数は多く、予定価格も大きい工事なので、繁忙期と重なったという理由以外に何か特殊な理由があったのか。コロナの影響で学校の夏休みが短くなり、土日に工事をしていることなどが関係しているのか。</p>	<p>1. この工事は、排水機場の除塵機の設置工事でメーカーの工事になるという特殊性があり、また、現在国土強靱化の緊急対策の3か年の事業で、全国的に大手はどこも技術者が不足しており、入札参加者が少ない状態が続いている。その中で、入札を何度も繰り返した状況と考える。【事務局】</p> <p>2. 随意契約は特殊な契約形態となるため、できるだけ入札を行いたいと考えているが、災害等の緊急であれば入札をしている時間がないので随意契約を選択する。また、除塵機の設置工事など、急ぐが緊急ではないものについては、何度も入札をしている。【事務局】</p> <p>3. そのとおり。【事務局】</p> <p>4. 通常の建築工事は工事時期が限定されないが、学校の校舎の改築では、夏休み等、学校が休みの期間に工事をする必要があり、その時期に他の工事を受注している業者が多く、入札参加する業者がいなかったと考えられる。学校の夏休みが短くなったことも影響していると考えられる。【事務局】</p>

意見・質問	回 答
<p>【条件付き一般競争入札】</p> <p>○長井古座線（仮称八郎山トンネル）道路改良工事</p> <p>1. D委員 共同企業体というのはどの時点で結成されるのか。入札公告が出た時点で共同企業体を作るのか。</p> <p>2. E委員 今回の工事は工期が600日間となっているが、工期の設定は、どのような基準で決めているのか。</p> <p>3. A委員 応札した4者全員が調査基準価格を大幅に下回っているが、何か要因があったのか。</p> <p>4. C委員 落札率が86.64%となっているので、最初の予定価格の設定が少し甘かったのではないかと印象を受けるがどうか。</p>	<p>（発注機関：道路建設課）</p> <p>1. その入札公告が出た時点で、企業同士で共同企業体を組んで応札してくる。また、工事の年間予定を出しているため、この入札が出たら共同企業体を組む準備をしていることも考えられる。</p> <p>2. 設計段階で、岩盤の硬さによって1日に何メートル掘れるか決まる。それで掘り終わるのにかかる日数、そのあとのコンクリート工事の日数、前後の準備工の日数、後片づけの日数を積み上げて工期を決める。また、今回の工事はトンネル工事なので雨など天候の影響を受けにくいですが、影響を受けやすい通常の工事ではさらに日数を増やしている。</p> <p>3. トンネル工事は競争が激しく、低入札が多い傾向にある。理由としては、トンネル掘削に慣れた下請け業者が効率的に掘り進めることで安く抑えられる場合があるため。</p> <p>4. 予定価格の積算は、工事従事者の賃金や材料購入費といった直接工事費と、工事を行うために必要な経費といった諸経費があり、直接工事費は抑えにくいですが、諸経費は会社の運営経費を切り詰めるなどして抑えていると考えられる。</p>
<p>【条件付き一般競争入札】</p> <p>○由良港港湾施設整備工事</p> <p>1. B委員 共同企業体の場合は、代表幹事と代表幹事以</p>	<p>（発注機関：日高振興局建設部）</p> <p>1. 企業の施工実績要件は代表幹事だけに求めている。ただし、船舶の所有という条件は代</p>

意見・質問	回 答
<p>外の構成員の両方に対して、企業の施工実績要件（過去の工事経験）を要求するのか。</p> <p>2. A委員 総合評価の加算点のうち、「企業の施工能力」の加算がないが、今回の工事では、企業の施工能力への加算には厳しい条件が課されているものだったのか。</p> <p>3. C委員 1者入札でも入札成立としているが、きっちり工事がされるか心配になるが。</p> <p>4. C委員及びF委員 今回の工事に必要な専用船を代表幹事と代表幹事以外の構成員が所有しているのか。</p> <p>5. F委員 専用船を所有していないということだが、共同企業体の場合は両方とも作業船の所有権を有していないといけないのではないか。</p>	<p>表幹事以外の構成員にも求めている。</p> <p>2. 加算されていない状況として、サンドコンパクションパイル工法の工事実績はあるが、工事成績が低かった場合、期間が合致しなかった場合、県内の工事実績ではなかった場合などが考えられる。</p> <p>3. 今回の工事は非常に特殊で、全国でも9隻ぐらいしかない専用船でしかできない工事となるが、工事が終わった後に、求めている地盤の固さになっているかどうかを海上ボーリングで検査する。</p> <p>4. どちらも所有していない。</p> <p>5. 代表幹事も代表幹事以外の構成員も通常の起重機船やしゅんせつをする船は所有しているが、今回のサンドコンパクションパイル専用の作業船は持っていない。入札参加要件で求めているのは一般的な作業船の所有権を有していることとなる。</p>
<p>【意見交換会】</p> <p>下記について意見交換を行った。</p> <p style="text-align: center;">記</p> <p>1. 公共工事動向について</p> <p>2. 建設工事請負契約に係る建設業法の改正について</p>	